



## 林田八幡 (はちまん) 神社

寛平5年(893)5月に林田8ヶ村の有志36人が国土安穩・子孫繁栄のために京都山城の石清水八幡宮から八幡の神を迎えて創建したと伝わる。江戸時代には林田藩主建部家が10代250年に亘り、産土神(うぶすながみ)祈願所として崇敬し、三代藩主政宇(まさいえ)・七代藩主政賢・八代藩主政醇(まさあつ)が奉納した灯籠が三つ並んでいる。秋には紅葉が参道を彩る。



## 長谷川家住宅 (非公開)



弘化5年(1848)に建築された長谷川家住宅は平成5年3月に姫路市の都市景観重要建築物に指定されており、姫路から山崎に通じる因幡街道の宿駅として栄えた林田街道筋の雰囲気を残している。

## 道林寺



貞享2年(1685)に前身の観音堂から真言宗の修行道場となり、享保年間に開祖順性により開基された。山号を月輪山(がつりんざん)といい、閑静な地で林田八景の一つに数えられる。寺内には敬業館教授で「吉野」の漢詩で知られる河野鐵兜の墓碑があったが、現在は姫路市林田町林谷の大谷口霊園内に改葬されている。また、文政6年(1823)の石鳥居があり、当時の神仏混淆の名残りを今に伝えている。

## 塩阜神水 (しおおかしんすい)

播磨国風土記に記載があり、海から3里(約12km)離れているが、塩分を含む湧き水が海水と同じ満ち引きをし、牛・馬・鹿などが好んで飲んだと伝えられている。碑の側には、旧龍野藩主脇坂安之氏の歌碑がある。



満ち引きをし、牛・馬・鹿などが好んで飲んだと伝えられている。碑の側には、旧龍野藩主脇坂安之氏の歌碑がある。

## 祝田 (はふりた) 神社

延長5年(927)完成の延喜式に「祝田神社」の名が見え、「式内社」とも呼ばれ、古い歴史を持つ神社である。寛治7年(1093)に林田が京都の上加茂神社の荘園となった時、貴船神社の高麗神(たかおのかみ)を迎え、当初から祀っていた罔象女命(みつはのめのみこと)と共に祀ったので「貴船神社」または、「貴船大明神」と呼ばれていた。建久3年(1192)に社殿を再建した時に、社号を「貴船神社」とし、罔象女命を祀った祝田神社はその奥宮に祀られた。明治16年4月に焼失し、再建時に祝田神社と改称する。また、近年では平成18年に公開された韓国映画「風のファイター」のロケ地にもなった。



## 素麺濫觴之碑 (そうめんらんしょうのひ)



江戸時代末期に揖保郡で素麺業が起こり、林田町でも冬の現金収入として盛んになった。この碑は、明治20年に揖東・揖西両郡素麺製造組合を作り、良質の麺を製造して販路を広げていった過程と素麺業への功績を讃えたものである。

## 薬師寺と芭蕉句碑



林谷にある薬師寺は、寛文11年(1671)に僧澄光が開基した。寺内には、京都の池田屋事件で倒れた大高又次郎をはじめ旧藩士の墓が多い。また、松尾芭蕉の句碑があり、三角錐状をした安山岩の自然石で造られている。

## 西池 (鴨池) と琵琶山

西池は、初代林田藩主建部政長が水利に苦しむ領民のために水路と共に築いた。景色の美しい西池は林田八景の一つとして数えられ、当時は建部氏の別荘もあった。このとき、西池を禁猟区とし鴨に餌を与え保護したことから、地元では鴨池の名前で親しまれている。冬になると現在でも鴨が飛来している。



冬になると現在でも鴨が飛来している。

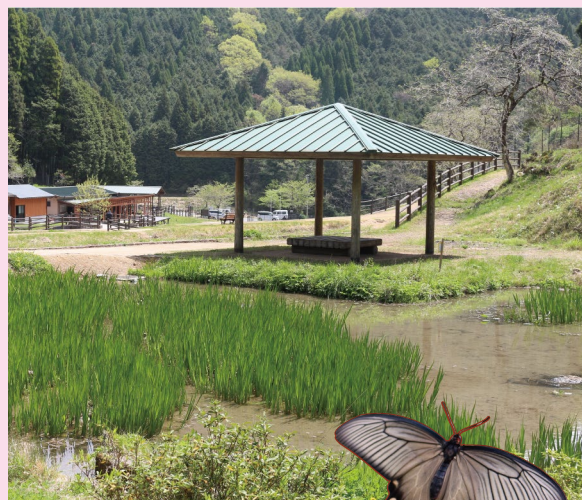




# 林田まちなかあるき

## 姫路市伊勢自然の里 環境学習センター

里山の自然を保全し、子どもから大人まで様々な世代が楽しみながら生物多様性について学べる環境学習施設。メダカやタガメなど見ることの少なくなった生き物にも出会える。平成30年にリニューアルオープン。季節によりジャコウアゲハやカブトムシを間近に観察できる「ジャコウアゲハとカブトムシの森」や大津茂川の源流に入って生き物観察できる「学びの川べ」などが整備され、子どもたちの笑顔であふれている。



**開園時間** 午前10時～午後4時30分  
**入園料** 無料 無料駐車場完備  
**休園日** 月曜日・12月28日～1月3日（月曜日が祝日の場合は翌日）  
**TEL / FAX** 079-261-3234 **住所** 姫路市林田町大堤615



姫路市蝶  
ジャコウアゲハ

## 白髭神社

貞享5年（1688）に創立され、猿田彦命を祀る。境内には、寛政9年（1797）の御神灯や明治42年に国有地字宮ヶ谷を開拓した記念碑がある。



## 多賀八幡（はちまん）神社

当初は八幡神社として、誉田別尊（応神天皇）を祀っていたが、明治39年に豊受大神を祀っていた多賀神社と合祀され、現在に至る。



## 法善寺

明応9年（1500）に大納言伴善男から16代目の孫である新左衛門尉忠長が草庵を構えたのが始まりである。



## 伴善男（とものよしお）の墓

大納言伴善男は平安時代の有能な政治家であった。応天門焼失の犯人として伊豆へ流罪となったというのが一般説であるが、峰相記では、播磨国に流罪となり、「彼墓所は西川合に有る也」とある。



## 伝久寺

毛利元利が浄土真宗に帰依して道順と号し、永禄元年（1558）に建立して開基となる。弘化3年（1846）に焼失し、安政3年（1856）に再建された。



## 椰（なぎ）神社

椰神社は葦原飯粒が椰の大木を切り倒した跡に天照大神を祀ったことから名付けられたと謂われている。境内には明治時代の伊部焼（備前焼）の狛犬がある。

